

環境会計

環境会計とは、環境保全の取組に必要とされる環境保全コストと効果を比較し、その評価を明らかにするための会計手法です。

環境会計を行うことによって、環境保全への取組の状況をお知らせするとともに、職員の環境意識向上を図り効果的な環境施策を実施し、今後の事業運営に反映させていくことを目的としています。

平成27(2015)年度決算版環境会計一覧表

(単位 千円)

分類	取組概要	環境保全コスト※1	経済効果※2	環境負荷低減効果		
1 事業エリア内コスト		[1,585,489]	[2,885,928]			
内 訳	(1) 公害防止	低公害車の導入	[3,221]	[3,221]	CO ₂ 削減量 34,594t	
		汚泥焼却施設の排ガス対策				
		下水道施設の臭気対策	447,631	3,221		
	(2) 地球環境保全	自然流下による取水・送水・配水	[293,957]	[869,000]		
		相模大規模開発建設改良事業				
		水源地保全事業	1,513,021	2,794,896		
	(3) 資源循環	水道メーターの再利用	[1,288,311]	[2,013,707]		NO _x 削減量 40kg
		建設副産物のリサイクル・再生材料の使用				
		処理水の有効利用	2,853,884	3,930,978		
	(4) 漏水防止	漏水修理工事	[0]	[0]		SO _x 削減量 981t
		漏水調査				
		給水管付替工事	2,333,153	835,267		
2 上・下流コスト※3	グリーン購入	[140,374]	[62,286]	廃棄物削減量 13,817t		
	エコケープルの使用					
	効燃焼ポリ袋の購入	140,374	62,286			
3 管理活動コスト	職員研修	[789]	[0]			
	長沢浄水場における環境マネジメント(ISO14001)					
	水質監視業務	188,699	0			
	施設の緑化・植樹管理					
4 社会活動コスト	広報物	[67,134]	[0]			
	作品コンクール					
	各種イベントの開催	67,134	0			
	江川せせらぎ					
合計		[1,793,786]	[2,948,214]			
		7,543,896	7,626,648			

- 【注】 1 金額は消費税抜きであり、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の合算値です。
 2 環境保全コスト及び経済効果の上段〔〕内は、環境推進対策として実施している金額を内数で表しています。
 3 経済効果の算出方法は、原則として差額計上ではなく全額計上とし、推定的効果も含まれます。
 4 人件費は含んでいません。

- ※1 環境保全コスト：事業活動における環境負荷を抑制することを目的とした投資及び費用
 ※2 経済効果：環境保全対策の実施により、得られた収益、回避できた費用を金額に換算して算出
 ※3 上・下流コスト：上・下流コストとは、事業エリアに財・サービスを投入する前の領域(上流域)及び財・サービスを産出・排出したあとの領域(下流)で発生する環境負荷を抑制する取組のためのコスト

コスト対効果

コスト対効果は、環境保全にかかるコストと環境保全対策に伴う経済効果の比較を行い、どれだけ効率的に環境保全対策に取り組んでいるかを表したものであり、「経済効果－環境保全コスト」によって算出される金額です。

$$\text{経済効果} \quad \text{環境保全コスト} \quad \text{コスト対効果}$$

$$7,626,648 \text{ 千円} - 7,543,896 \text{ 千円} = 82,752 \text{ 千円}$$